

令和5年度 第3回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月7日（火） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 会議室1
- 3 出席委員 堀内 秀哲、齋藤 誠、佐藤 公治、瀧 幸仁、鈴木 景子、岡安 智代、
猿田 彩、鈴木 巧、大井 啓吾
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 西澤 幸次朗
- 6 学 校 河合 享子（校長）、泉澤 優光（教頭）、横山 和美（CS担当教員）
飛永百合子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 教育委員会 清水 悠（教育総務課）
- 9 協議事項
（1）学校の現状と課題
- 10 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子
- 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち開始時に8人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

司会が、議長の選出について意見を求めたところ、会長の齋藤委員より立候補があり、全員異議なくこれを承認した。

（1）学校の現状と課題 ～地域・家庭としてできることは～

前回の会議であがった7つの課題について、まず個人の意見を付箋にメモをした。次にグループ内で付箋を貼りながら意見を出し合い、協議をした。

課題

- ①自らを振り返り、その後の学習・生活に生かす。
- ②自ら考え、生活をよりよくする。（自主・自立）
- ③安全に気を付けて生活する。（校内・校外）
- ④挨拶ができない。（時と場、だれにでも、いつでも）
- ⑤読書時間が短い。
- ⑥ネットに関わる時間が長い。
- ⑦月・火曜日の欠席児童、遅刻児童、体調不良児童が多い。

グループ発表

1班

- ① について 授業や活動後に振り返る時間をつくる。子供が反省する。そして家庭も共有する。
- ② について 具体策の一つとして、お手伝いカードを作って披露する方法が紹介

された。

- ③ について 地域の人が見守る。家庭で交通安全を話し合う。一緒に自転車で走る。
- ④ について 地域で声をかける。声をかけて「敵」ではないことをわかってもらう。
- ⑤ について 学校で読書の時間を設ける。家庭でも親と一緒に読む時間を設ける。
図書室の情報（人気本・最新本）を出してもらう。
- ⑥ について ルールを出して共有する。他の家庭の使い方も参考にする。
- ⑦ について 生活習慣を身につける。日曜日でも早寝早起きする。

2班

- ① について 振り返りの時間は大切。保護者が家で聞いて振り返ることも大切。
家庭での方法として、自分を褒めるところを一つ、やり直すとしたら何かを一つと2点を振り返るのはどうか。
どの項目にも通じるが、親も子も忙しい。家庭で子供と話す時間を増やしたい。
- ③ について ルールは知っているが、具体的にどのように危ないか知らせることが必要。
運転免許更新時の映像のようなものを見る機会があるといい。
上級生が下級生に説明する機会があると意識が高まるのではないか。
- ④ について 挨拶は大人からしていこう。
- ⑤ について 読み聞かせも上級生が下級生にするといい。
- ⑦ について 子供が学校に行ける環境づくりを家庭でする。
子供が急に変わったわけでないので大人が頑張らないといけない。

- ・地域家庭としてできることを考えるこの会の趣旨から、何か方向性がある意見があればお願いします。（齋藤委員）
- ・海外ドラマ「大草原の小さな家」で、今日の良かった話を家族でしていたが、そのようなことができると思う。（巧委員）
- ・地域と家庭と学校とで、同じ考えで進めるといい。町をあげて挨拶を進めたり、月曜日の登校が悪い原因を考えたりして、一步を踏み出していきたい。（瀧委員）
- ・月間目標を決めて一緒に取り組むといい。（堀内委員）

- ・先日の協働センター祭りには、中ノ町小の子供たちも参加してくれ盛況だった。この会で、地域、家庭としてできることを考えていることに感心した。（西澤オブザーバー）

その他報告事項等

司会から、次回の会議は、2月21日を予定している旨の報告があった。